

ヨーロッパアルプス登山報告

—— マッターホルン、ブラトホルン、メンヒ、モンブラン ——

井上太一

昨年の明神さんのマッターホルン登攀に刺激を受け、半年準備したあと、8月1日からスイス、フランスで登山を楽しみ、23日ミラノ発で24日成田に帰国しました。

旅の目的のマッターホルン4478m（ガイド付き12日）だけでなく**ブライトホルン**4164m（3日とガイド付き9日の2回）、**メンヒ**4107m（17日）、**最高峰モンブラン**4810m（20日）と合計四つも登頂でき大満足です。明神さんと応援していただいた皆様一人ひとりに深く感謝もうしあげます。

マッターホルンはヘルンリ小屋3260mから往復6時間15分（4:20出発、7:50登頂、10:35戻り）で、12日当日数十組のパーティのうちトップ登頂・最速往復記録でした。地元ガイドなので4組目に出発し、いつの間にか3組を追い抜きトップに立ちました。後ろの組でスタートすると難所でかなり待たされ、数時間は遅れます。早朝はとくかく寒く、登山手袋でも指先の感覚がなくなり、グリップするのに苦労しました。かといってミトンは使えないです。ソルベー避難小屋からの100m超の垂直の壁は、ガイドから太縄を引き寄せて腕力で登れと言われましたが、ここで明神さんが肩と腕の力を使い果たしたと聞いていたので、これだけは断固拒否し、3点確保で急いで登りました。その後アイゼンを付けて氷の急斜面を登りましたが、完全に凍てついていて、ガイドが後続のためにピッケルで丁寧にカットしてステップを整え、かなりの時間を費やしました。ガイドと踏んだ二人だけの山頂は、見晴らし最高で、毎朝ツェルマットから眺めていた頂きにいま立っているという実感が胸がいっぱいでした。降りのやばいところはガイドが繰り出してくれる懸垂下降の連発で、それこそ休みなしで駆け下り、地上に無事「舞い降り」ました。23歳のガイド **AndreasSteindl** 君はウキペディアにも個人で載っている精鋭で、昨夏地元ツェルマット1600mからマッターホルン山頂までの連続登り2時間57分の大記録を作ったそうです。彼に当たったのは私の幸運でした。彼から前夜私の荷物をとことん減らされました。そして彼はとにかく休みなしで行動し、6時間強のうち昼食含め休憩時間は計10分もありませんでした。食べたのは干しイチジク2個とドライマンゴ2切れだけ、飲んだのはミックスフルーツジュース500ccだけで、水1リットルは手つかずでした。私もこの日のために、高尾山系10時間競歩や、犬の散歩中に公園の石垣をアイゼンで上り下りし変人よばりされるなどそれなりの準備はしました（受験勉強と同じで特訓計画の1/3は達成---）。ガイドなしで登頂した日本の好青年がおり、彼は私より技術的にも上でしたが、ルート探しと自らの安全確保のために登り6時間+降り10時間かかったそうです。もう一人の日本人も別の日に全く同じタイムでしたのでガイドなしではかなり困難な山に違いありません。私は羊飼（イエス）に導かれた羊でしたが、まあ素直で少し要領の良い羊だったのでしょう。ヘルンリ小屋に戻りビールを数本買って皆で祝杯をあげました。その後1時間強ハイキングコースを降り、ゴンドラでツェルマットに戻り、ホテル自室でワインを飲み、13時間爆睡しました。前夜小屋中が、開戦前の軍隊宿舎の如く興奮していてほとんど寝れなかったのです。13日の朝気持ちよく目覚め、観光客に混ざり散歩しましたが、なぜか体の痛みは全くなかったです。不思議なことです。

他の3山は、蟻の行列の如く登山者が多く、かつ技術的に易しくて、ガイド付き素人のパーティをどんどん抜きました。モンブランは体力だけの山です。とはいえアイゼンでの岩登りと冬山の経験は必要です。最後のグーテ小屋3800mを天の川の下2時半に出発し日の出前6時半に登頂しました。極寒・無風・無音そして地平線がぐるっと赤く、この世と思えない世界を垣間見ました。とにかく寒かったです。小屋に泊まった100人中17番目でした。ルンルン降りの天国の後、グーテ小屋からの岩降りは、日差しがきつく酷暑地獄に一変しました。そういえばどの山も下山後体は痛くなかったです。2年前にベジタリアン&フルータリアンになって体質が変わったのでしょうか。

登山のあとはミラノ・ベネチアなど北イタリア観光だと思っていましたが、ミラノのあまりの暑さに、急遽帰ることにしました。改めて皆様の応援に深く感謝申し上げます。

(了)

写真集 (一部カットしています<編集者>)



ブライトホルン時差ぼけ解消登頂 8.3



ブライトホルン・アイゼン練習岩登りの峰 8.9



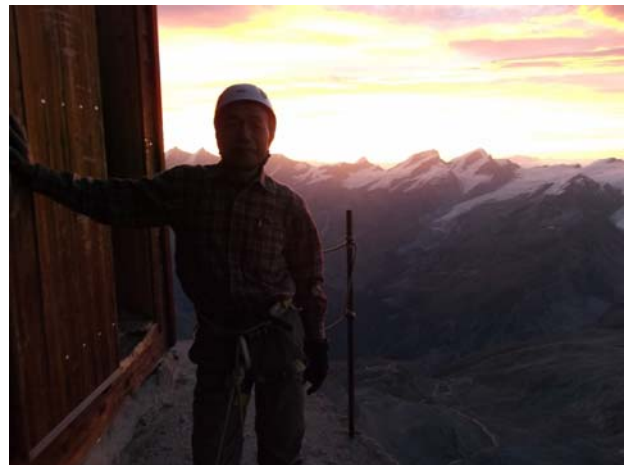
ヘルンリ小屋からのマッターホルン 8.3 偵察宿泊



ブライトホルン・アイゼン垂直岩登り振り返り 8.9



ツェルマットから見上げるマッターホルンの朝焼け 8.9



マッターホルン途中ソルベール避難小屋 8.12



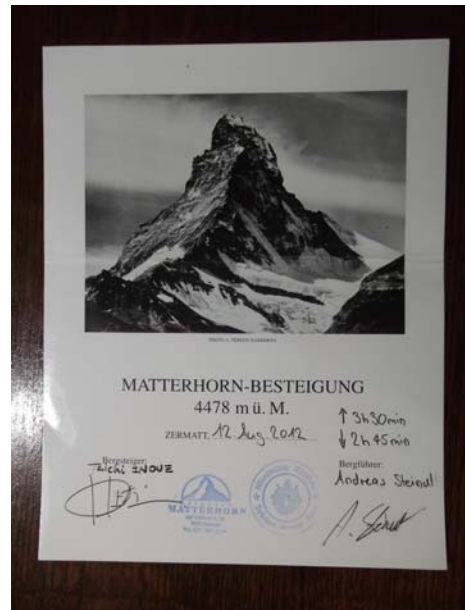
マッターホルン登山中のモンテローザ朝焼け 8.12



マッターホルン下山岩場の休憩 8.12



マッターホルン山頂 8.12. 7時50分



マッターホルン登頂証明書 8.13



マッターホルン山頂 8.12 ガイドのアンドレア君 23 歳



マッターホルン背景にパラグライダー 8.13



アレッチャー氷河源流ユウグフラウ左とメンヒ右 8.14



モンブラン途中グーテ小屋直前の岩登り 8.19



メンヒ頂上 8.17.11 時 50 分



モンブラン頂上 8.20.日の出前 6 時 30 分



シャモニーから見るモンブラン 8.18